

☉ 議会だより やまもと

Vol. 184
令和元年8月1日発行



こんなにとれたよ (ふじ幼稚園)

第1回臨時会

会期 4月26日

第2回定例会

会期 6月7日
～6月14日

■ 第2回定例会	P2～5
■ 議会報告会	P6
■ 第1回臨時会	P7
■ 一般質問	P8～15
■ あれからどうなった	P16
■ 委員会報告	P17～18
■ 会議等出欠状況	P19

育て環境の整備

商品券発行事業等に総額 2 億8000万円



○定例会概要

第2回定例会は、6月7日から14日（8日間）の日程で開催されました。今回の会議では町長提出議案18件（報告5件、条例4件、契約4件、補正予算3件、町道の路線廃止と認定）を審議しました。

町道の路線廃止と認定の2議案（※P4参照）は、地権者と地域住民への説明不足により取り下げられました。一般会計補正予算など11議案と意見書1件は原案通り可決、報告5件を承認し閉会しました。町政全般にわたり8名の議員が一般質問をおこないました。

○補正予算の概要

今回の一般会計補正予算は、法改正や国・県補助金の内示額等が決定したことにより予算化したほか、認められた復興交付金により、埋蔵文化財収蔵庫建設事業や、津波避難誘導標識整備事業の予算となりました。

主な一般会計補正予算

補正予算の主な事業	予算額
コミュニティ助成事業（小平・つばめの杜東区）	1162万円
プレミアム付商品券発行事業	3851万円
津波避難誘導標識整備事業	950万円
坂元小学校校舎改築事業	3151万円
坂元小学校トイレ洋式化事業	1405万円
埋蔵文化財収蔵庫建設事業	1億497万円
その他	6726万円

各種会計当初予算一覧表

（単位：千円）

会計名	補正額(6月)	合計額
一般会計	277,418	11,651,572
国民健康保険事業特別会計	2,752	1,825,441
後期高齢者医療特別会計	—	167,905
介護保険事業特別会計	—	1,440,486
巨理地域介護認定審査会特別会計	—	7,387
水道事業会計	—	610,803
下水道事業会計	—	1,105,003
総計	280,170	16,808,597



改修を待つ坂元小学校



教育と子

坂元小学校トイレ洋式化工事、プレミアム付

○補正予算の主な質疑

プレミアム付商品券発行

議員 購入対象者が限定されているのであれば、直接支援した方が効果的と考えるが。

課長 今回の事業は、期限が短く、過去にも発行した経験があり、町内商店での利用限定のものである。

議員 購入対象者は広がっていくのか。

課長 この事業は、国の制度に基づき、限定された非課税世帯の方、子育て世帯で子どもを0歳から3歳未満児を育てている方のみを対象としており、今後の広がりは、現段階では想定していない。



プレミアム商品券

津波避難誘導標識整備

議員 この事業は、沿岸部にどのような形で、どんなものを設置するのか。

課長 今回整備する標識は、注意・避難情報・津波避難誘導・指定緊急場所サインである。

議員 設置箇所は10カ所と理解してよいか。

課長 津波注意サイン10基、避難情報サイン20基、津波避難誘導サイン69基、指定緊急避難場所サイン12基の、合計111基を整備するものである。

町民綱引き大会

議員 補助金100万円として支出する理由は。

課長 住民と行政の協働とコミュニティ再構築を図るため、実行委員会を組織するため。

議員 補助金の積算根拠は。

課長 賞品15万円、謝

礼75万円(審判、実行委員20人×5千円×6回)、その他となる。

議員 補正予算とした理由は。

課長 昨年度実施した時期が2月であり、当初予算提出後であったためである。

議員 補正対象とならない中身ではないのか。

課長 実行委員会形式での実施予定から、事

業内容に大きな変更が生じるため。

議員 昨年度の事業を検証もせず、実行委員会を組織することは未設置状態等の不安材料が残る。お金の使い方、手続きに大きな問題があることを指摘する。

ふるさと振興基金、補助金のあり方を見直すべきである。



町民綱引き大会 (平成31年2月)

条例の一部改正

○東日本大震災に伴う
山元町国民健康保険
税の減免

改正内容

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う避難指示区域等（解除・再編された区域を含む。）から山元町に転入し、国民健康保険に加入した者の国民健康保険税減免措置を1年間延長する。

○介護保険条例

改正内容

政令等の施行に伴い、今年10月に実施される消費税率10%への引き上げに合わせて、介護保険料の軽減強化を図り、令和元年度介護保険料から、軽減対象枠を拡大する。

契約

○物品購入・工事請負
契約（議案第35号、
第36号、第37号、第
38号）

名称	金額（消費税含む）	落札率	相手方
消防ポンプ積載車等更新事業	11,565,250円 指名競争入札	96.43%	日本防災工業(株) 仙台営業所 (仙台市)
坂元合同庁舎解体工事請負	117,093,600円 条件付一般競争入札	86.80%	奥田建設(株) (仙台市)
漁港環境施設整備工事	161,784,000円 条件付一般競争入札	99.87%	(株)阿部工務店 (巨理町)
旧中浜小学校震災遺構保存整備工事	230,677,200円 条件付一般競争入札	86.97%	仙建工業(株) (仙台市)



旧中浜小学校

新たな過疎対策法の制度に関する意見書を可決

提出者
議会運営委員会
委員長 菊地康彦

提出先

内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
農林水産大臣
国土交通大臣

提案理由

「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末をもって失効するため、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持され、同時に都市も含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与し、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させる必要があるものである。

住民への説明不足で取り下げ

議案第39号「町道の路線廃止について」
議案第40号「町道の路線認定について」

議案撤回

議員 路線廃止は、大きな事業であることから、周辺の地権者、地域住民にわかりやすい形で提案が必要である。次に路線認定の確認だが、大きな新設であり、どれだけの事業内容なのか。
課長 国道6号の交差点の東側には新浜諏訪原線が接続する計画である。

議員 避難路として計画しているが、地権者に説明はしているか。
課長 説明はしていない。
議員 地権者に説明もせず、判断できないよ

うな中途半端な状態で提案されても、認められない。ここに決定した経緯は。

町長 新浜諏訪原線は、避難道路としての位置づけで整備してきている。その先の国道6号から町道真庭線に接続し、延長すれば、一定の直進線をもって町道真庭千保田線という形でルート確保が一番望ましいと考えた。
議員 地権者にも、将来の計画がある。事後報告でよいのか。
町長 今回は取り下げ、改めて必要な調整を行い、審議いただけるよう努めていく。



戸花山から真庭へ

○令和元年 第2回定例会 議案等の審議結果

議案番号	事 件 名	結 果
報告第 4号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※山下浅生原線道路改良工事	報 告
報告第 5号	線越明許費線越計算書について（平成30年度山元町一般会計）	
報告第 6号	事故線越し線越計算書について（平成30年度山元町一般会計）	
報告第 7号	山元町水道事業会計予算線越計算書について	
報告第 8号	山元町下水道事業会計予算線越計算書について	
議案第31号	山元町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (全員賛成)
議案第32号	山元町手数料条例の一部を改正する条例	
議案第33号	東日本大震災に伴う山元町国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	
議案第34号	山元町介護保険条例の一部を改正する条例	
議案第35号	平成31年度 山元町消防ポンプ積載車等更新事業に係る物品購入契約について	
議案第36号	平成31年度 山元町坂元合同庁舎解体工事請負契約の締結について	
議案第37号	平成31年度 漁復1号 漁港環境施設整備工事請負契約の締結について	
議案第38号	平成31年度 復興交付金事業 旧中浜小学校震災遺構保存整備工事請負契約の締結について	
議案第41号	令和元年度山元町一般会計補正予算（第1号）	
議案第42号	令和元年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第43号	令和元年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	

※議案第39号・第40号は撤回 詳細はP4に掲載

○陳情の受理

陳情番号	件 名	請願者等の氏名職業	結 果
陳情第 5号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	全国青年司法書士協議会 会長 半田 久之	配布のみ
陳情第 6号	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	一般社団法人日本沖縄政策 研究フォーラム 理事長 仲村 覚	
陳情第 7号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	宜野湾市民の安全な生活を守る会 会長 平安座 唯雄	

あなたの声を聴かせてください

山元町議会報告会

6月22日(土)にふるさとおもだか館、中央公民館の2会場で、町民の皆さんへ議会での取り組みや活動内容の報告を行うとともに「まちづくりと議会・議員に望むこと」をテーマに意見をいただきました。主な質問、意見などは次のとおりです。

中央公民館

○議会に対する主な質問

パークゴルフ場整備

町民 パークゴルフ場を建設して欲しい立場である。採算性が取れるかが重要であるが、検討結果はいつまでにできるのか。

議員 採算性調査の結果はでているが、用地が特定していない。調査結果に疑問があるため継続調査としている。

町民 町では、具体的な決定をしていないのか。
議員 調査の結果18、36ホールは赤字、54ホールは黒字になっているが、利用者数の出し方に疑問を感じる。後世に負の遺産を残さないように細かいところまで検討する。

保育所建設

町民 保育所建設を先送りしたら子どもも大きくなり、子どもがいなくなれば保育所を建設しなくていいのか。

議員 坂元地区定住促進という若い人を呼び込む方針をだしているが、子育てのための施設がなければ移住して来ないのではないかと話し合っている。

町民 一日でも早く坂元地区に保育所を建設できるように尽力してほしい。この件に関して、議員が一枚岩になっていないのではないか。
議員 議会は早期建設についての決議をしている。早期建設できるかの方策を協議をする。

その他

町民 議会傍聴者の心得をきちんと示すべきではないか。

議員 注意を促していきたい。

○町への意見要望

茶室

・文化財の調査において、言い伝えには根拠があるので地域住民の話をもう少し聞いて進めてほしい。

公共交通

・町民バスは、連休等の対策を考えてほしい。
・デマンドタクシーのエリアを4つに区分しているが、町全体として利用できるようにしてほしい。
・デマンドタクシーの予約方法を改善してほしい。

産直施設

・品揃えに工夫をしていくべきではないか。
・陳列棚の工夫をし、モニターでの警備を徹底すべきである。

その他

・議場の傍聴席を少し高めにしてほしい。



ふるさとおもだか館

平成31年 第1回臨時議会

小・中学校エアコン整備事業可決

4月26日（金）に臨時議会が開催され、一般会計補正予算を含む、専決処分による承認3件、議案1件、同意1件、合計5件を審議しました。

主な質疑

議員 落札状況において、他の自治体と比べて落札率が高いが、最低制限価格の設定が高いのではないか。

課長 最低制限価格制度の導入は、国の推進によるものでもあり、国の示したモデルに沿って算出しているが、近年、全国的に算出率の割合が高くなってきている傾向にある。

議員 学校ごとではなく一括で発注しているが、なぜ、地元業者が参加できない規模、条件にしたのか。

課長 全国的にエアコン整備が進み、機器の調達が厳しい中で、早期の設置や、まとめた方が低価格での入札が可能と考えた。

議員 地元業者を大事にする、育てるという意味からも、地元業者が参加できる条件で発注するべきである。



臨時議会

人事

固定資産評価員
樋口 保氏
(副町長) を同意

※固定資産評価員とは
首長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、かつ、首長が行う価格の決定を補助するもの

○平成31年第1回臨時議会 議案等の審議結果

議案番号	件名	議決の結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (山元町町税条例等の一部を改正する条例)	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (山元町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度山元町一般会計補正予算・専決第1号)	
議案第30号	平成30年度（繰） 山元町立小中学校空調設備整備工事請負契約の締結について	可決 (全員賛成)
同意第3号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意

○陳情の受理

陳情番号	件名	請願者等の氏名職業	結果
陳情第4号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」 実行委員会 安里 長従	配布のみ

行革なくして持続可能なまちなし

町長 必要性は認識、が計画作成予定なし



議員 岩佐 哲也

議員 大震災からの復旧・復興期間も残すところあと2年となり、今こそ少子高齢化・人口減少に備えたまちづくりに取り組むべきではないか。何をすることも財源が必要。そのためにもまず、行革に取り組むべき。行財政改革の必要性は。

町長 行財政改革の取り組みによる体質改善や事務執行体制の確立は必要であると認識している。

議員 現在の行財政改革を点検評価などしているか。現在、第6次総合計画作成に取り組んでいるが、その前に基本となる行政改革計

画の見直しをすべきでは。仙台市は行革効果280億円と公表。

町長 回答にそぐわないかもしれないが、震災からの復旧・復興関連事業を優先に取り組んできた中、人的余裕がない。

議員 行財政改革計画作成について今後の取り組みの予定は。

町長 出来るだけ早く策定の時期を明示したいが、現在のところ、明確な時期は示せない。

議員 住民との協働、指定管理制度の活用等の予定は。多賀城市は84、相馬市は32、南相馬市は44事業を行政区の自治会等に委託し職員の業務と経費を削減している。わが町でも積極的に外部委託をしては。

町長 今までも取り組んできたが、今後とも行政区を始め地域住民との協働のまちづくり

に向けた仕組みづくりを検討していく。

議員 職員の意識改革や能力向上等の取り組み状況と今後の対策は。また、PDCA・TQM・報連相等の活用と人事評価制度の有効運用は。

町長 今年度はPDCAサイクルに基づく業務改善に取り組んだ。報告・連絡・相談等は一定程度浸透しているとみている。多様化、高度化する行政ニーズに対応出来る人材育成を促進すべく各種研修を実施し、人事評価に活かし職員の意識改革と能力向上に努めている。

議員 「持続可能なまち」 「誰もが住みたくなるまち」などの政策を実現するためには、健全財政運営が何よりも大事。健全財政基盤を確立するためには、行財政改革が必要。行革に取り組む姿勢に問

題があり、しっかりと計画を企て行財政改革に取り組むべきである。



「わが町の行革効果は・・・」

※PDCAとは…Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Act (改善)の略。この4段階を順次行い各段階のレベルを向上させて、継続的に業務を改善すること。

※TQMとは…全体的な質的向上を目指すと同時に、組織におけるあらゆる業務を総合的に向上させること。

人口減少化に対する具体策を

町長 提言の取り組みを検討する

議員 コンパクトシティの利便性を活か

し、つばめの杜周辺の街並み拡張・整備により、若者を中心とした定住促進の考えは。

町長 県道山下停車場線両側のイチゴ街道ま

で、農振農用地の区域外を居住候補地として、道路の整備を行う。拡張・整備の時期は、未定である。

議員 ベットタウン再構築策について、津波

防災区域3種への転入者に被災者同様の支援策（嵩上げ50cm）を講じては。

町長 空き地活用は期待できるが、財源などの課題もある。

議員 この制度は、来年3月で終了する。定住を促すため、「過疎債」を投入し継続すべきでは。

町長 その財源も勘案し、対応可能か検討する。

議員 既存市街地や各住宅団地の空き家（空き地）を活かす考えは。

町長 この資源を活かす方向で取り組んでおり、移住・定住やりフォームなどの制度を活用してもらいたい。

議員 土地が安く、道路、上下水道が整っている。地元不動産業者と定期的に連携を図り、情報の更新、窓口体制の強化を図るべきでは。

町長 不動産業者への支援も、移住・定住促進事業に入っており、JRの車内に関連の掲示もしている。議会、町民の方に理解されるよう取り組みを加速させる。

議員 町長マニフェスト「来て、見て、食べて、住んでよし」に考慮すべきことは、点在する多くの観光資源を線にし、見て、味わっ

ていただく食事処や宿泊施設が必要ではないか。

その一案として、中学校再編後の坂元中学校を、民営公募で食事・温浴・宿泊の複合施設を運営する考えは。

町長 恵まれた立地環境で、交流人口拡大に資すると思うが、民間との連携が必要である。

議員 コンセプトは、町内外の方の癒しと賑いの場、学校の歴史を重視し坂元中OBの同窓・同期・同級会の集いの場、民営の公募であると考えるが。

町長 本提案を含め、企業誘致、地域コミュニティティー拠点など、ニーズに合った利活用に取り組んでいく。

議員 町北部の各行政区では、各イベント、世代間交流のコミュニティ活動などの努力をしている。山元イン

ター、四方山観光などを活かした北部の開発は。

町長 北部、中部、南部の地域活性化が大切で、指摘の件は担当課を中心に進めている。



たかはし たてお 議員
高橋 建夫

たかはし たてお 議員
高橋 建夫

たかはし たてお 議員
高橋 建夫



つばめの杜周辺の拡張で定住促進を

山下駅から少年の森への道路整備を

町長 安全性が図れる対応策を検討する



わたなべ ちえみ 議員
渡邊 千恵美 議員

議員 少年の森の機能を拡張し、自然と斜面を活かした東北最大級のアスレチックや登山道、またキャンプ場、天体観測、昆虫採集、バーベキューができる教育環境を整備する考えはあるか。

教育長 今後、基本計画に取り組み、多角的な観点から検討を加え、自然環境を活かした教育環境の具現化に努める。

議員 基本計画を立て取り組むにはどのくらいの時間をみているか。

教育長 地権者の方々から全て同意を得てから、基本計画に入っ



自然の中でたっぷり観察できるよ

いくため、今の段階ではわからない。

議員 山下駅から少年の森に行くまで、登山客に歩いての最短距離を聞かれたが、アクセス道路整備の考えはあるか。

町長 利用者の方々に少年の森まで快適に移動していただくことは重要な課題である。利便性や安全性の向上が図れる対応策を検討する。

議員 役場西側の仮設階段であるが、2期工事の仮庁舎撤去の際、

役場西側からのアクセス道を検討する考えはあるか。

町長 時期等々勘案し検討する。

議員 野外教育などの指導技術専門員の採用を目指し、指定管理者を導入する考えはないか。

教育長 管理業務を民間委託に移行する方向で検討を進めており、次の段階で自然教育の実施等も視野にいった指定管理者の導入も検討していく。

「家庭教育10カ条」の条例制定を

教育長 先進事例を参考に今後研究していく



議員 町民共通の思いを、町民総ぐるみで実感するためにも、「家庭教育10カ条」の条例を制定し取り組む考えはあるか。

教育長 先進事例を参考にしながら、関係者からの意見を踏まえ、今後研究していく考えである。

議員 子どもの虐待防止、子どもをキレさせないための考えはあるか。

教育長 非常に大きな問題であり、教育委員会だけでなく、他の関係機関とも連携し、より良い子育てができる環境づくりに努めていく。

パークゴルフ場の具体的整備計画は

町長 速やかに基本計画に取り組み

議員 総合計画の中でパークゴルフ場の位置付けをどう考えるか。

町長 現在、策定を進めている第6次総合計画では、「夢と志を育むまちづくり」の中でスポーツ、レクリエーションに関する施策に位置づけられる。また、パークゴルフは、医療費の抑制効果や町内飲食店等の利用拡大など幅広い波及効果をもたらすと認識している。

の具体的な整備計画は。

教育長 全体事業費の正確性を高める、候補地選定を含めた基本計画業務に速やかに移行したい。その結果等を精査し、具体の整備計画について判断する。

議員 パークゴルフ協会ホームページに「人を元気に、町を元気に、笑顔広がるコミュニティースポーツ」とある。このようにテーマを明確にして取り組んではどうか。

町長 まずは、全体像がお示しできる基本計画業務に取り組みたい。

議員 パークゴルフ場を整備するのであれば、児童公園を併設するなど、複合施設を考へては。

町長 極力、費用が増えない形でやりた

い。既存の施設との相乗効果が期待できる配置は大事である。
議員 交流人口を全世界にわたって拡大することが必要と考えるが、課題は。

町長 それぞれのイベントや施設等の点と点を線でつなぎ、各世代の興味、関心に合わせた周遊ルートなどの設定を行い、ネットワーク化による相乗効果を図ることである。



議員 山本 晴美



昨年の町民パークゴルフ大会

公用車に防犯ステッカーを張っては

町長 既決の予算の中でも対応できる

議員 防犯パトロールの実態は。
町長 防犯パトロール隊が専用の防犯パト

ロール車で週3回、隊友会の皆さんが青色回転灯を装着した車で週2回以上朝夕の通学時間帯に実施している。

議員 地域の防災意識を高めるために、公用車に防犯ステッカーを張ってはどうか。

町長 特定の車両だけでなく、様々な手法を駆使するのは大事である。ステッカー程度であれば、既決の予算の中でも対応できると思う。

議員 通学路等に防犯カメラを設置すべきではないか。

教育長 今後も通学路の点検等を実施し、道路管理者や町の防犯担当課である総務課等と連携を図りながら検討する。

議員 地域団体に設置したカメラに補助金をだしている自治体もあるが、その考えは。
町長 町が直接やるのか検討課題にする。

定住促進対策は

町長 JRの車内広告で広くPR



いわさ しゅういち 議員
岩佐 秀一

議員 人口減少が著しい坂元地区への定住促進対策として、旧坂元中学校跡地の活用を検討してはどうか。

町長 地域の方々の意見を伺い検討することになるが、新市街地を中心とした坂元地区の活性化を図るため、新婚子育て世帯を意識した宅地として新たな居住環境を整備するなど、有効活用についても鋭意検討していく。

議員 地域活性化のため、農振農用地の見直しを検討してはどうか。

町長 東部地区の換地作業が終われば、町全体として、農振農用地

の見直しをせざるを得ない時期を迎えると考えている。

通学路の安全対策は

町長 関係機関と連携し安全の向上を図る

議員 交通事故の多い、坂元大橋と交差している県道角田・山元線の事故防止策は。

町長 事故防止を図るため、地元区長、警察署、県道管理者及び町が合同で現場立ち合いを行った結果、町道の改良及び横断歩道と道路照明灯の設置を行い、見通し並びに歩行者の安全性の向上を図っていく。

議員 いつ頃までに、改善を図るのか。

町長 対策、対応の方向性が出ており、工事に着手することとなっている。

議員 歩行者は右側通行が基本である。この交差点の左側に待機スペースは出来たが、右側にはまだ設置されていないので設置すべきである。

課長 右側にまだ待機スペースが設置されていない。県道のため、今後、仙台土木事務所

と協議し、対応について検討していきたいと考えている。

議員 子供たちが、事故に遭わないように、早急な改善を期待する。

次に、通学路の危険ブロック塀除去助成事業の進捗状況は。

町長 2月から3月にかけて、県仙台土木事務所と合同で、通学路におけるブロック塀の危険度調査を行っている。4月に調査結果が公表され、その調査対

象148件のうち、改善が必要となる危険度2の判定は49件、除去等が必要な危険度3は5件で、内2件については既に除去や補強などの対応がなされている。

議員 撤去費用補助額の増額を検討すべきではないか。

町長 対象者に対し速やかな除去等をお願いする呼びかけを強化し、必要があれば追加の予算措置等の対応を検討していく。



改善をまつ交差点

過疎からの脱却を図るべき計画を

町長 時期は示せない

議員 過疎からの脱却時期や住民が夢と希望の持てる計画を示すべきではないか。

なっているのか。

町長 償還計画に基づき返済し、縮減に努めていく。

町長 諸政策を着実に推進する中で、一定期間を要すると理解している。

課長 令和2年度をピークに、残高は減少していく計画である。

議員 現時点での地方債等（町の借金）の残高は。

議員 現在、計画している総合計画との整合性は。

課長 一般会計で約67億円、水道事業約10億円、下水道は約45億円である。

課長 平成29年度末での課題整理はしている。

議員 償還金120億円の償還計画はどのように

議員 達成度は。
町長 概ね90%程度の進捗状況である。
議員 目標指数の残りの

10%の部分は。

町長 復興期間中の継続事業（避難路、磯浜漁港、農地整備事業等）や、コミュニティ再生や心の復興等ソフト面である。

議員 課題解決のため、総合計画は審議会委員だけではなく、住民が目標に向かった計画とすべきでは。

議員 総合計画は、町長個人の計画ではなく町民総意のもとで策定すべきである。

町長 全世帯と中学生、15歳から22歳までの方々へ、アンケートを実施し、町民の意向は反映している。

議員 町民の総合計画案の中に、町長マニフェストが掲載されている理由は。

町長 町のリーダーとして諸課題解決に向けて取り組むためである。

議員 総合計画は、町長個人の計画ではなく町民総意のもとで策定すべきである。



議員 岩佐 孝子



優勝し満面の笑顔（坂元中卓球部）

「防災意識文化」の確立・発信を

町長 防災訓練等を継続実施していく

議員 今後に向けた防災訓練の実施計画は。

町長 「自らの命は自ら守る」避難行動できる訓練を継続的に実施する。早期に安全な避難行動を促す観点から的確な情報収集・発信を行う。

議員 震災の記憶を忘れることなく、防災意識の醸成・高揚をどのように図るのか。

町長 記憶を風化させることなく、避難訓練や防災教育を継続的に実施する。

議員 防災教育、防災士養成等の計画は。

課長 次年度に向けて検討していく。

議員 山元語り部の会では、自主的に防災士養成を実施している。町では、中学生を対象に資格取得を考えていくべきではないのか。

課長 先進事例等を把握して、検討する。

議員 わが町で先進事例を作り、発信していけば良い。

復興総仕上げの課題と事業は

町長 復興計画は概ね達成できたと認識



橋もと 伸一 議員

議員 国の定めた復興期間は10年であり、残り2年である。坂元地区の保育所建設を2年先延ばしせずに、復興期間内に完了すべきではないか。

町長 来年2月の予算編成終了時までには一定の方向性を出したい。
議員 今年度から、坂元地区への子育て世帯の定住促進のための支援金を増額した。さらに、「新婚・子育て世帯の定住促進が急務であり、宅地分譲も考える」と言っているのであれば、保育所は、待ったなしで再建すべきと考えるがどうか。

町長 移住・定住など、坂元地区の活性化に向けた必要な取り組みは進めたいと思うが、保育所建設は、町全体の人口動態、新婚・子育て世帯や子供の数の問題等を勘案しながら方向性を出さなければならないことである。

議員 費用対効果をよく精査して進めるべき事業と、多少お金が掛かって進めるべき事業がある。考えればわかると思う。最後に確認するが、建設すること間違いはないか。
町長 すべての可能性を含めて来年の2月までということと理解いただきたい。



子育てするなら山元町

議員 「この期に及んで」という感じである。その他、四番作道のかさ上げ、津波防災区域の見直しなども課題と考える。

議員 四番作道整備工事の進捗状況は。
町長 事業費の抑制を図るため、良質土を県事業等の残土により確保することとしており、必要な量が確保できていない。
議員 排水路整備は。

「安全・安心」対策は万全か

町長 万全を期する

町長 上流側河川と下流側排水路に関し、一連で対策を進めており、今後とも関係機関と連携を密にし、健全な施設管理に努め、災害に強い町づくりを進めていく。
議員 事故の多い町道交差点の安全対策は。
町長 巨理警察署や公安委員会、県等の関係機関と連携を図り、事故防止対策に努め、町としても路面標示による事故防止対策を検討していく。

議員 再編後の中学校の通学路と安全対策は。
教育長 通学路については、学校ごとに指定している。指定方法は、通常使用する経路を確認するとともに、通学区域の交通事情を把握し、通学に適切な安全確保を最優先に考える。場合によっては、国・県等にも要望し開校に向け取り組んでいく。
議員 開校に間に合うことを期待する。

基金を活用した国保税の引き下げを

町長 今年度も現行税率で

議員 相次ぐ食料品の値上げ、10月には消費税の引き上げ等々、これまで重い負担を強いられてきた状況の中で、現在でも負担能力をはるかに超えた高い国保税には住民の悲鳴が相次いでいる。こうした事態をつくりだしてはならないと考えるが、基金を活用した国保税の引き下げを。

割」の免除、軽減で、子育て世代の負担軽減を。

町長 先行事例も参考にし、さらなる検討をしていく。

町長 県内で最も低い税率を維持しており、今年度も現行税率で。**議員** 子どもの「均等



えんどう たつゆき
遠藤 龍之 議員



パークゴルフ場建設の総事業費は

町長 計画地を絞り込んだ段階で示したい

議員 町は、「今回の調査結果を踏まえ、今後の整備方針等の検討を進めていきたい」としているが、この調査は町の置かれた現状、実情、前回提案の際、示された町民の不安、疑問、懸念に答えられないような調査結果になつてるか疑問。前回提案で否定されたことを考えれば、今回の取り組みでは町民の理解を十分に得た中での取り組みにすべきと考えるが、最終的な総事業費は。
教育長 計画地を絞り込んだ段階で示したい。
議員 前は多額の事業費が否定の理由となつていて、最終的に20億になるのか、30億になるのか、その辺の想定位は示すべきだが。
課長 どうしても場所が決まらなないと、全体事業費が算定できない。

議員 この程度の調査結果では、今の時点で全く判断できない。総事業費が明確に示されない中で、維持管理費をどうみるか。
教育長 36ホール以上の規模であれば維持管理費上の収支均衡が保たれるとみている。
議員 なぜ維持管理費を明確に言えないのか、疑問が残る。維持管理費を支えるうえで、年間利用者数をどうみるか。
教育長 県内外の利用者実績に基づき、平均人数を利用者見込みとしているため、実際の利用者数とは差異が生じるのは自然と受け止めている。
議員 54ホールで6万4千人とした時、1日の平均利用者数は。
課長 360日稼働を前提とすると、1日当たり17人。
議員 規模の問題、総

その他の質問
・議会の決定等への町の対応は
南保育所の早期実現を求める
議会の決議、予算、決算に付された同じく早期実現を求める意見をどう受け止め、検討し、町政に活かそうとしているのか。



追跡レポート あれからどうなった？

坂元地区への保育所建設は

令和2年度の当初予算編成終了時までには一定の方向性を出したい

○これまでの議会での主な経緯

平成27年第2回(6月)定例会 請願

山元町南保育所再建を願う会から、「山元町南保育所の早期再建を求める請願」が提出され、全員賛成で採択される。

平成28年第1回(3月)定例会 予算

保育施設基本計画策定にかかる業務委託料410万を含む平成28年度一般会計予算を可決

平成29年第1回(3月)定例会 決議

保育所の早期建設についての決議を全員賛成で可決
平成28年度当初予算に業務委託料を計上したにも関わらず、繰越明許。待機児童・隠れ待機児童解消のため1日でも早い保育所建設を図るべきである。

平成29年第3回(9月)決算審査特別委員会 付帯意見

坂元地区の保育所建設は繰り越し事業となったが、予算執行が適正かつ効率的に実施されたか疑問である。1日も早い事業着手を図りたい。

平成30年第3回(9月)決算審査特別委員会 付帯意見

保育所再建の取り組みに進展がみられない。これまでの議会の意見を十分踏まえ、1日も早く事業に着手すべきである。

平成30年12月 総務民生常任委員会

過疎地域自立促進計画の児童福祉施設整備事業を平成30年度から平成32年度へ年次計画変更の説明を受けた。

変更理由

- 1 多様な子育てニーズに対応するため
- 2 幼児教育・保育料無償化の対応の動向を見極めるため
- 3 国の人口の推計や町の人口動態から保育所建設の可能性を見極めるため



平成28年8月開所のつばめの杜保育所

総務民生常任委員会

産建教育常任委員会

◇公用車の借り上げ

意見

昨年度から公用車の使用簿で稼働日数と年度末までの走行距離をチェックし適正な車両の保有に努めているが、企画財政課で作成したルールが現状に合うか、また厳密に守られているか、今後も注視する必要がある。

◇介護保険事業

意見

認定・評価は申請者の現状に見合うものでなければならぬ。チェック項目内容との整合性が不十分な可能性もある。利用者が最も必要とするサービスを提供し体制を整えるべきである。

◇ふるさと納税

意見

ふるさと振興基金は当事者から申請を受け、それが要項に合致すれば補助金として交付され、ふるさと納税は、財源対策として町で実施する各事業の財源に充当しているが、目的の違うふるさと振興基金とふるさと納税制度がなぜ一本化に集約しているのか疑問が残る。

◇町民バス

意見

今後も、町民バスは交通弱者の救済が目的に事業を進める必要がある。デマンド型乗合タクシーは、新規登録者に対しフローチャート（一連の流れを図式化）を作成し説明を行う工夫もあるが、利用の際に高いハードルと認識を持つ住民もいる。誰もが利用しやすい受け入れ体制を図るべきである。



ふるさと納税

◇茶室

意見

令和3年度に修復を完了し、4年度より供用開始予定との説明を受けたが、交流人口増の一助と考えられるため、できるだけ早期の供用開始を目指していくべきである。

◇総合教育会議

意見

この会議において、パークゴルフ場建設について検討するのは、違和感がある。小・中学校再編に係る住民や議会の意見・要望についてこそ、協議・検討するべきである。

◇商工観光交流課の取り組み

意見

商工振興班では、企業誘致・雇用問題、また、観光交流推進班では、観光資源の環境整備や、今後の農水産物直売所運営等、定住促進や経済効果に繋げることが課題である。

◇小・中学校エアコン設置

意見

事業費に対する疑問から調査を行った。学校生活に影響のない範囲で削減が図れたことは評価できるが、検討段階から、議会の意見や指摘事項に耳を傾ける姿勢が不足していることは問題である。

◇パークゴルフ場

意見

採算性調査の結果について報告を受けたが、調査結果に大きな疑問が残るため、現段階での施設整備に賛成できない。今後も継続的に調査する必要があると判断した。



急ピッチで進むエアコン設置工事

総務民生常任委員会視察研修

月日

令和元年5月23日
(木)～24日(金)

項目・研修地

- 1 子育て支援施策
・千葉県流山市
- 2 定住支援の取り組み
・千葉県栄町

概要

1 流山市の子育て支援施策のうち、「送迎保育ステーション」に特化した現地視察を行った。平成17年8月につくばエクスプレスが開業し、都心へのアクセスが向上した市の人口は年々増加傾向である。この都心への通勤する保護者の利便性も考慮し、駅前に送迎保育の拠点を設け、ここから市内の全認可保育所へ児

童を送迎している。送迎保育ステーションの運営は社会福祉法人「高砂福祉会」が行っている。



送迎保育ステーション

まとめ

1 都市型の子育て支援施策としては、共働きの世帯にとって理想的なサービスであるが、当町の施策として取り入れる場合には、課題が残る。

2 栄町は人口減少が課題となっており、特に若い世代の転出による町の活力の低下が懸念され、移住・定住・人口（特に若い世代の転入者）の増加を図るため各種支援制度が創設された。その中でも企画政策課内に不

2 定住・移住促進のための推進体制において、職員が直接、遠くは都心まで足を運び各企業の訪問やPR活動等に熱意をもって取り組んでいる。定住施策の体制が整っている当町でも参考にし、人口減少の取り組みに活かすべきである。

1 都市型の子育て支援施策としては、共働きの世帯にとって理想的なサービスであるが、当町の施策として取り入れる場合には、課題が残る。



研修風景

議会を傍聴してみませんか

どなたでも傍聴できます。【傍聴席は25席】
本会議当日、傍聴券に住所・氏名を記入のうえ入室してください。また、退室時は傍聴券の返却をお願いします。



議場

議会(本会議)をインターネットで視聴できます

本会議の様様をライブ映像と録画映像で配信しています。
スマートフォン・タブレット端末でも視聴することが可能です。
「山元町議会中継」で検索してください。



議会中継

議員の会議等出欠状況

平成31年4月1日～令和元年6月30日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				岩 佐 哲 也	渡 邊 千 恵 美	竹 内 和 彦	岩 佐 孝 子	伊 藤 貞 悦	岩 佐 秀 一	菊 地 康 彦	大 和 晴 美	遠 藤 龍 之	高 橋 建 夫	橋 元 伸 一	青 田 和 夫	阿 部 均
4	4	木	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
	12	金	議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○
			巨理地方町議会議長会 総会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	15	月	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
	16	火	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—
	19	金	産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
			巨理名取地区議会連絡協議会 総会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	22	月	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—
	24	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○
	26	金	第1回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	10	金	仙南・巨理地方町議会議長会 議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	欠
	17	金	大河原町議会 視察受入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
			産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
	20	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	22	水	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	欠	—
	23	木	総務民生常任委員会 視察研修（～24日）	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	欠	—
	28	火	全国町村議会議長会 正副議長研修（～29日）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	30	木	産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
6	4	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	水	議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○
	7	金	第2回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
	10	月	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—
			産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
	11	火	第2回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	水	第2回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	13	木	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	欠	—
			産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
	14	金	第2回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	19	水	仙南・巨理地方町議会議長会 視察研修（～21日）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	22	土	議会報告会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	25	火	県町村議会議長会 議員講座	—	○	○	○	—	—	○	○	—	○	—	—	—
	27	木	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	欠	—
	28	金	産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—

議長交際費

区 分	4月		5月		6月	
	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容
会 費	14,000	巨名市町議会連絡協議会懇親会 会費（正副議長分） ほか1件	35,000	仙南・巨理地方議長会懇親会 会費 ほか4件	10,000	隊友会山元支部総会懇親会 会費 ほか1件
慶 弔	8,000	小坂杯少年野球大会 祝儀 巨理町前議長葬儀 香典	—		3,000	巨理郡剣道大会 祝儀
その他	—		15,304	原水爆禁止国民平和行進 賛助金 ほか2件	7,120	視察研修土産代 ほか1件
合 計	22,000		50,304		20,120	



バルーンアートにチャレンジ →
↓ 研修風景 (大学生とともに)



次代を担う「山元ボランティアサークル虹(YVC虹)」

会長 佐藤 利愁 (高2) 会員33人 (高校生20人中学生13人)

昭和45年に結成され50年の歴史ある中・高校生で組織しているボランティア団体で、これまで延べ1000人の方が活動してきました。子どもと遊びたい、子どもが大好き、何かをやってみたい仲間が集まって毎月の定例会やちびっ子盆おどり、クリスマス会などを開催しています。

また、子ども会や遊び隊などのイベントへ積極的に参加しています。先輩たちは、第1回全国ボランティア大会や青少年育成団体などから数々表彰された輝かしい実績があります。

私たちも、先輩を見習い地域のリーダーとして活躍していきたいです。

学校、部活との両立は難しい点がありますが、未来は私たちに任せてください。この若いエネルギーで、大好きなこの町が、笑顔あふれる明るく夢と希望のもてる地域づくりに取り組んでいきたいです。

明るい未来をめざしてGo! Go!

◆ ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆ ◆

令和元年 第3回山元町議会定例会(予定)

会 期：8月30日(金)～9月18日(水)
開 会：午前10時
本会議：8月30日
9月3日・4日・6日・18日
(一般質問は、9月3日・4日です。)

町ホームページをご覧ください 山元町議会で **検索**

- 議会中継(録画配信)
- 会議録
- 議決結果
- 議員、委員会等名簿
- 会期日程
- 議会だより
- 決議

以上の内容を掲載しています。

編集デスク

暑中御見舞い申し上げます。
先日行われた参議院選挙では、18歳を迎え初めて投票された方もいたことと思います。私たち議員の任期も残すところ3カ月余りとなりました。
担当した169号からの議会だよりを振り返ると、広報委員にとっても、それぞれの冊子が宝物です。これからも町民の皆様にも毎回楽しみにしていただける、分かりやすい紙面づくりに努めます。
また、町政の一つ一つの課題に対して真摯に取り組む、町民からより信頼される議会を目指しますので、引き続きご支援をよろしくお願い致します。
(担当 大和 晴美)

議会広報・広聴常任委員会

- 委員長 岩佐 秀一
- 副委員長 大和 晴美
- 委員 渡邊 千恵美
- 委員 岩佐 孝子
- 委員 橋元 伸一